

リングライト

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HVL-RLA

© 2004 Sony Corporation Printed in Japan

特長

- ・近接撮影用リングライト
マクロ撮影時に効果的なライティングが可能です。
- ・ライティングに変化をつける多彩な演出が可能です。
- ・すべてを点灯させた均一なライティングで無影撮影ができます。
- ・片側点灯で被写体のコントラストを生かして、立体感を強調した撮影ができます。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月~金:9:00~20:00 土・日・祝日:9:00~17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

●安全のための注意事項を守る

●故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する

●万一、異常が起きたら

リングライトが熱くなる
変なにおい、煙が出た場合は

- ① リングライトの電源を切る。
- ② ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



下記の注意を守らないと、感電により大けがの原因となります。

分解しない

内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。

内部の点検や部品の交換はソニーの相談窓口にご相談ください。



分解禁止

点灯部を人の目に近づけて点灯させない
強力な光は目を痛める恐れがあります。



禁止

電池についての安全上の注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中にいれないでください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 一次電池は充電しないでください。
- 指定された種類の電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わないでください。
- 電池交換の場合は電源を切り、数分待ってから取り出してください。電池によっては、発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 金属類で \oplus 、 \ominus がショートすると発熱、発火する危険があります。

△注意

- ④と⑤の向きを正しく入れてください。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 電池の電極と本機の電池、電池蓋の電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電極端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

もし電池の液が漏れたときは、電池ケース内の漏れた液をよくふきとつから、新しい電池をいれてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

主な仕様

- 照度 150Lx以上 (0.3 m Hiモード)
- 推奨撮影距離 0.1 m~0.5 m
- 推奨電池 単3形アルカリ乾電池 (4本使用)、
単3形ニッケル水素電池 (4本使用)
- 電池寿命 単3形アルカリ乾電池 Hiモードで約40分
単3形ニッケル水素電池 Hiモードで約110分
*常温時 (25 °C)
単3形アルカリ乾電池は低温の場合、電池寿命が短くなることがあります。
- 外形寸法 操作部 約64×78×79 mm (幅/高さ/奥行き)
(最大突起部は含まず)
リング部 約124×141×24 mm (幅/高さ/奥行き)
(最大突起部は含まず)
- 質量 約180 g (操作部+リング部、電池含まず)
5 °C~40 °C
リングライト (1)、アダプターリング (2)、ポーチ (1)、
印刷物一式
*電池は同梱されておりません。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではリングライトの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名: HVL-RLA
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

使用上のご注意

- 本機はビデオカメラにはご使用できません。
- 温度の低い場所で使用する場合は、常温時 (25 °C) に比べて点灯時間が短くなるなど電池の性能が低下しますので、予備の新しい電池を準備されることをおすすめします。ただし、低温のため性能の低下した電池でも常温にもどれば性能は回復します。
- 60 °C以上になるような高温の場所に放置したり保管したりしないでください。高温になると内部構造に悪影響があります。(特に夏季の自動車内での置き忘れにご注意ください。)
- クローズアップレンズ併用時、広角 (W) 側で四隅が暗くなる (ケラレ) ことがあります。そのような場合は、ズーム倍率を望遠 (T) 側へ移動させケラレのない位置を選んでください。
- デジタルスチルカメラに本機を取り付けたまま机の上などに置いた場合、本機の外周が当たるなどしてデジタルスチルカメラが傾き不安定になりますので取り扱いにご注意ください。
- 本機をデジタルスチルカメラに装着した状態で、本機のみを持って持ち上げないでください。デジタルスチルカメラが落下する恐れがあります。
- リング部と操作部をつなぐケーブルは固定していますので、引っ張らないでください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

こんなときは

点灯しない

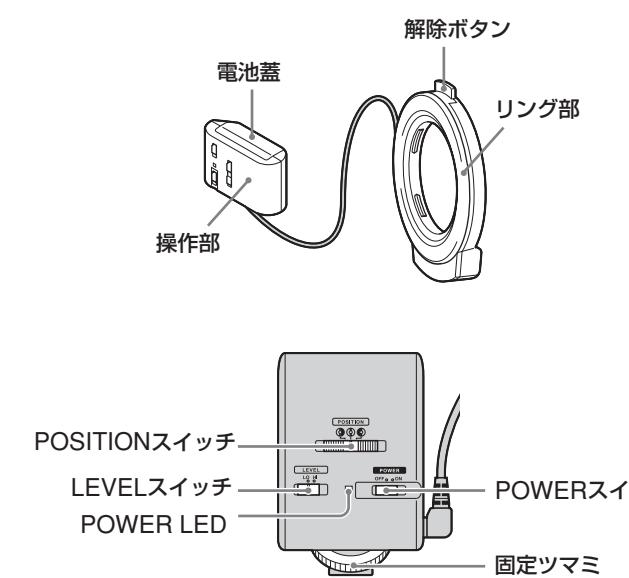
つぎのようにしてください。

- 本機のPOWERスイッチが「ON」になっているか確認してください。
- 電池の \oplus 、 \ominus を確認してください。
- 電池を新しいものに交換してください。

お手入れ

リングライトをデジタルスチルカメラから取りはずし、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

各部のなまえ



電池の入れかた

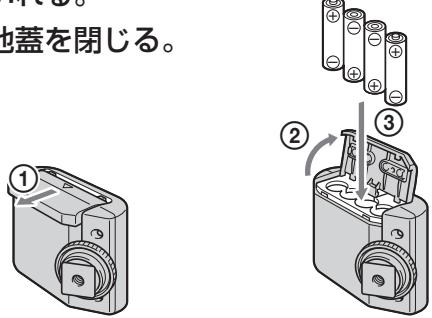
電池はソニー製単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池4本をご使用ください。それ以外では正常に動作しないことがあります。

* 単3形ニッケルマンガン乾電池と単3形マンガン乾電池はご使用にならないでください。

1 電池蓋を開ける。

2 電池4本を電池ケース内の表示にしたがって正しく入れる。

3 電池蓋を閉じる。



ご注意

- 電池は必ず4本とも同じ種類のものをご使用ください。
- 電池の④印は必ず確認していってください。誤った入れかたをすると、点灯しません。
- 使い切った単3形ニッケル水素電池と充電した単3形ニッケル水素電池と一緒に使用しないでください。

本取扱説明書では、デジタルスチルカメラDSC-F828を使用して説明しています。

本機を取り付ける前に

アダプターリングは、お使いになるデジタルスチルカメラの取扱説明書でご確認ください。

- 花形レンズフード、フィルターなどを取り付けている場合は取りはずしてください。
- レンズからレンズキャップを取りはずしてください。

取り付けかた

1 アダプターリングをしっかりと取り付ける。 (手順①)

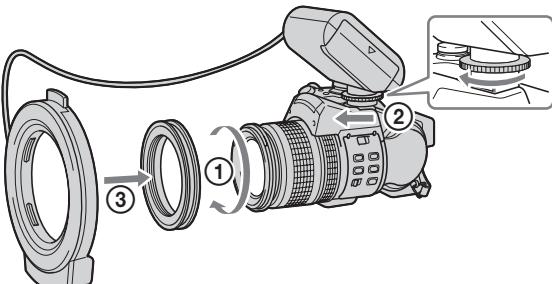
2 操作部をデジタルスチルカメラのアドバンストアクセサリーシューにしっかりと取り付ける。 (手順②)

3 アダプターリングにリング部を取り付ける。 (手順③)

*リング部の解除ボタンの位置を上にして取り付けてください。

ご注意

アダプターリングを取り付けるとき、レンズ部をキズつけないよう取り付けてください。



DSC-V3をお使いのかたへ

1 別売のアダプターリング (VAD-VHA) を取り付ける。(手順①)

以下のアクセサリーに付属していますアダプターリングもご使用できます。

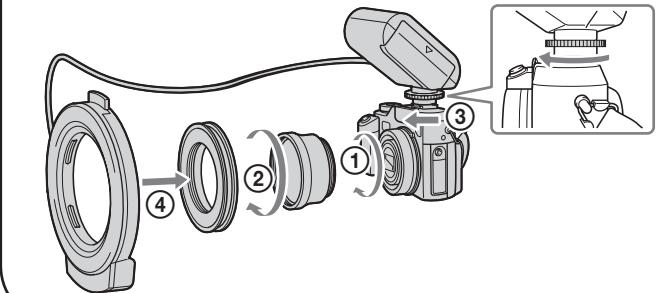
テレエンドコンバージョンレンズ (VCL-DEH17VA)、
花形レンズフード (LSF-VHA)

2 アダプターリングをしっかりと取り付ける。 (手順②)

3 操作部をデジタルスチルカメラのアドバンストアクセサリーシューにしっかりと取り付ける。 (手順③)

4 アダプターリングにリング部を取り付ける。 (手順④)

* リング部の解除ボタンの位置を上にして取り付けてください。



使いかた

詳しくはお使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 デジタルスチルカメラのPOWERスイッチを「ON」にする。

2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「オート」以外に設定する。

3 デジタルスチルカメラのフラッシュを「④(発光禁止)」にする。

4 操作部のPOWERスイッチを「ON」にする。

5 デジタルスチルカメラのホワイトバランスを「SET (ワンプッシュセット)」にする。

6 デジタルスチルカメラをマクロ撮影に設定する。

クローズアップレンズ（別売）をご使用の場合は、マクロ撮影する設定の必要はありません。

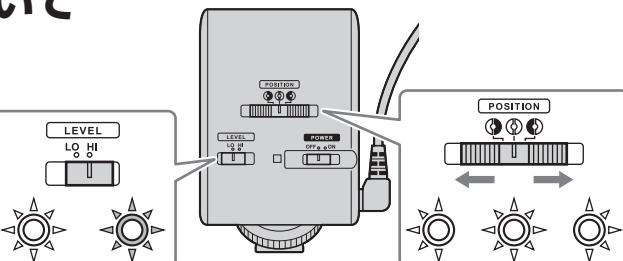
7 本機を被写体に向け、撮影する。

デジタルスチルカメラに本機を取り付けていると、重みでレンズ部が安定しません。左手でレンズ部をささえて撮るか、三脚での使用をおすすめします。

ご注意

- 操作部のLEVELスイッチを切り換えた場合、ホワイトバランスを設定しなおしてください。
- 本機をデジタルスチルカメラに装着した状態で、本機のみを持って持ち上げないでください。デジタルスチルカメラが落下する恐れがあります。

リングライトの点灯とスイッチについて



- 操作部のLEVELスイッチを「LO」にすると照度は約半分になりますが、点灯時間はのびります。

- バッテリーエンド後、POWERスイッチを再度「ON」にすると点灯する場合がありますが、故障ではありません。

POWER LEDについて

・緑色の点灯の場合

電池は充分あります。

・赤色の遅い点滅の場合 (バッテリープリエンド)

新しい電池を用意してください。

* 使用する電池の種類により点滅時間が変わります。

・赤色の早い点滅の場合 (バッテリーエンド)

リングライトが消灯します。

電池が消耗しています。

新しい電池と交換してください。

お願い

Ni-MH
ニッケル
水素電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。